

2017年12月期 決算説明会

2018年2月14日

JUKI株式会社

代表取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI

Mind & Technology

目次

第1部 2017年12月期(2017年度) 業績概要と2018年度業績予想

1. 業績推移・配当	3
2. 経常利益増減要因	4
3. 主要財務項目、キャッシュ・フロー	5
4. セグメント別業績推移	6
5. 2018年度 業績予想	10

第2部 中期経営計画(2018-2020)の取り組みと2018年度の重点施策

1. 中期経営計画の取り組み	13
2. 2018年度 重点施策	18

第1部

2017年12月期(2017年度)業績概要と 2018年度業績予想

売上高は、欧米や中国の経済が堅調に推移し、特に中国における活発な設備投資需要に支えられたことや、為替が円安基調で推移したことなどから、前年同期比6.1%の増収。

利益面は、収益性を重視した販売施策やコストダウン、諸経費削減効果などにより、営業利益は前年同期比75.3%の増益。また、外貨建債権の評価替えに伴う為替差損が縮小したことなどから経常利益は前年同期比159.4%の増益。

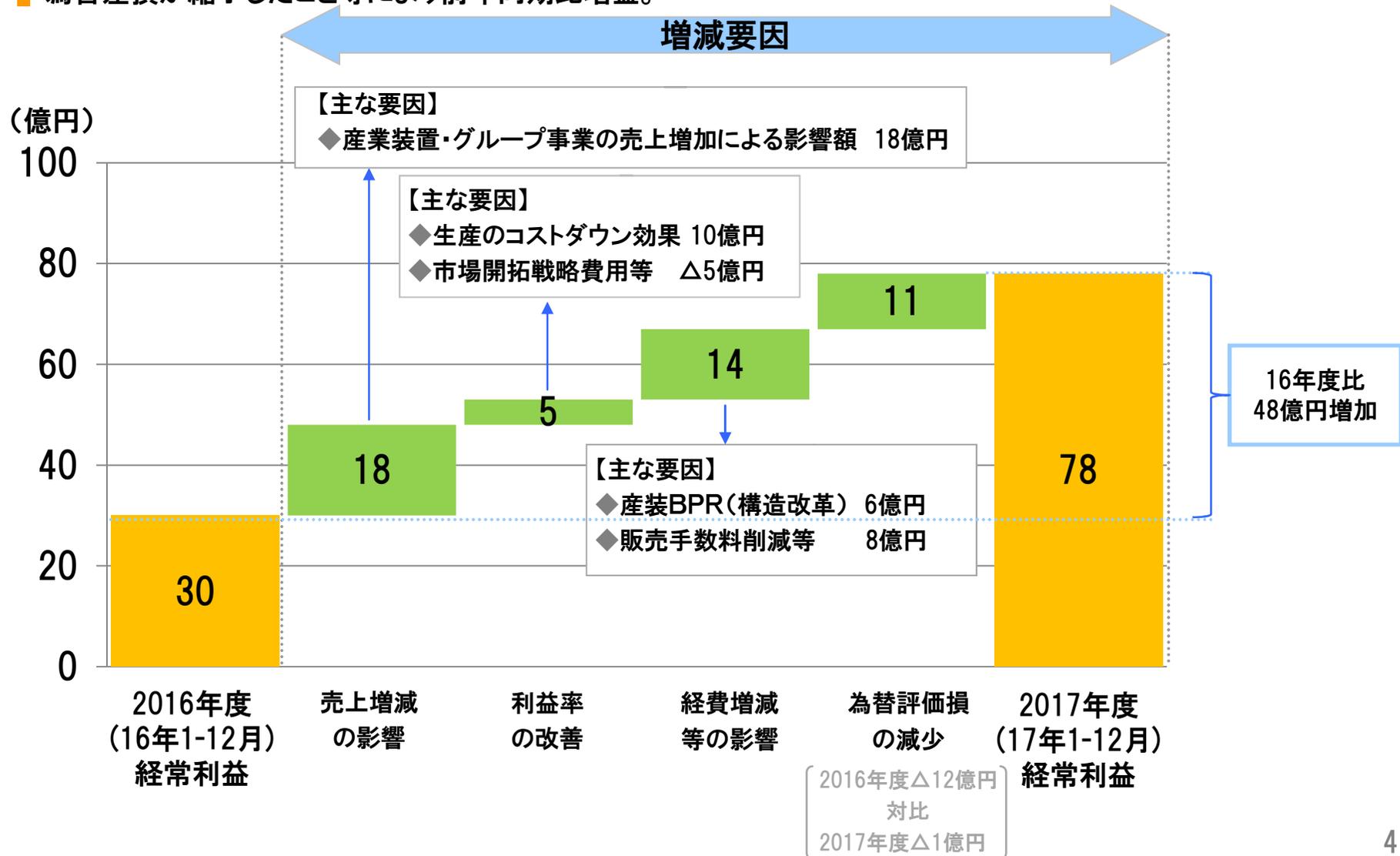
	(百万円)				[参考]			
	15/12期 (15年度)	16/12期 (16年度) 〈A〉	17/12期 (17年度) 〈B〉	前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)	17/12期(2017年度)四半期実績			
	15年1-12月	16年1-12月	17年1-12月		1Q	2Q	3Q	4Q
				17年1-3月	17年4-6月	17年7-9月	17年10-12月	
売上高	112,865	97,724	103,659	5,935 (6.1%)	23,717	24,672	25,839	29,431
営業利益	7,110 [6.3%]	4,651 [4.8%]	8,156 [7.9%]	3,504 (75.3%)	2,138 [9.0%]	1,480 [6.0%]	1,953 [7.6%]	2,585 [8.8%]
経常利益	5,728 [5.1%]	3,022 [3.1%]	7,839 [7.6%]	4,817 (159.4%)	2,241 [9.4%]	1,348 [5.5%]	1,802 [7.0%]	2,448 [8.1%]
当期純利益	3,853 [3.4%]	1,883 [1.9%]	5,642 [5.4%]	3,759 (199.6%)	1,527 [6.4%]	877 [3.6%]	1,367 [5.3%]	1,871 [6.4%]
配当 (株式併合後基準)	35円/株	20円/株	※35円/株	15円/株	—	—	—	—
為替 レート	ドル 121円 ユーロ 135円	110円 121円	112円 127円	2円 6円	114円 121円	111円 124円	111円 131円	113円 133円

※ 17/12期 配当内訳:普通配当25円、80周年記念配当10円

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

* []は売上高利益率

売上増加、収益性を重視した販売施策やコストダウン等による利益率の改善、経費の削減に加え、為替差損が縮小したこと等により前年同期比増益。

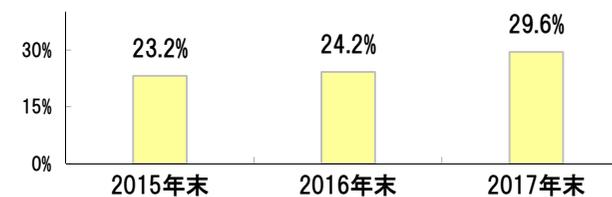


主要財務項目、キャッシュ・フロー

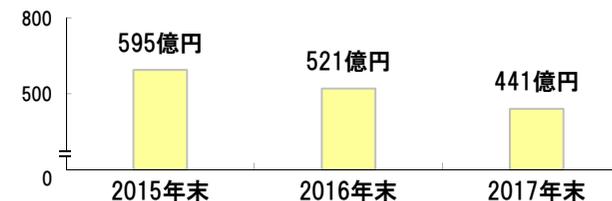
- 自己資本比率は29.6%に上昇。
 - 有利子負債は96億円減少。
 - キャッシュ・フローは、在庫削減等により営業CFが増加。
- (百万円)

	16/12期末 (16年12月末) 〈A〉	17/12期末 (17年12月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	111,365	110,554	△810	
純資産 [為替換算調整勘定]	27,582 [△2,274]	33,343 [△1,966]	5,761 [307]	
純資産比率	24.8%	30.2%	5.4%	
自己資本比率	24.2%	29.6%	5.4%	
売上債権 [売上債権回転期間]	30,741 [3.8ヵ月]	32,398 [3.8ヵ月]	1,657 [0.0ヵ月]	
在庫 [在庫回転期間]	37,616 [4.6ヵ月]	36,652 [4.2ヵ月]	△964 [△0.4ヵ月]	
仕入債務 [仕入債務回転期間]	9,972 [1.2ヵ月]	14,049 [1.6ヵ月]	4,077 [0.4ヵ月]	
有利子負債	60,156	50,551	△9,605	
現預金	8,048	6,407	△1,641	
為替レート (期末)	ドル	117円	113円	△4円

【自己資本比率】

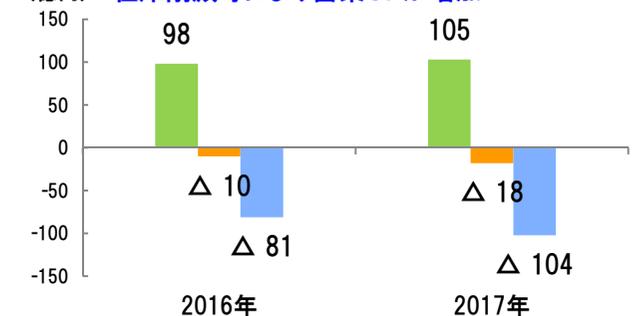


【有利子負債(現預金控除ベース)】



【キャッシュ・フロー】 営業CF 投資CF 財務CF

(億円) 在庫削減等により営業CFが増加



縫製機器&システムは、市場別では欧米、中国でハイエンド分野での売上が堅調に推移したものの、アジア市場における一部地域での売上が伸び悩んだこと、製品別ではノンアパレル分野での売上は堅調であったものの、ミドルマーケットのアパレル市場向けの売上が減少したことから、前年同期比売上は横這い。

産業機器&システムは、産業装置では最大の市場である中国をはじめとした設備投資需要の拡大に支えられて新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する省力化装置の売上が大きく伸びたこと、受託加工等のグループ事業では顧客開拓が進み売上が着実に伸びたことなどから、前年同期比21.8%の増収。

	(百万円)			[参考]	(百万円)			
	16/12期 (16年度) 〈A〉	17/12期 (17年度) 〈B〉	前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)	17/12期(2017年度)四半期実績				
	16年1-12月	17年1-12月		1Q	2Q	3Q	4Q	
				17年1-3月	17年4-6月	17年7-9月	17年10-12月	
縫製機器 &システム	69,241	69,055	△ 186 (△0.3%)	15,989	16,573	16,950	19,543	
産業機器 &システム	28,148	34,280	6,132 (21.8%)	7,644	8,015	8,812	9,809	
その他	334	324	△10 (△3.0%)	82	84	78	80	
合計	97,724	103,659	5,935 (6.1%)	23,717	24,672	25,839	29,431	
グループ 事業	8,661	10,569	1,908 (22.0%)	2,495	2,723	2,586	2,765	

縫製機器&システムは、ハイエンドで高付加価値な商品の売上増や収益性重視の販売活動の展開、コストダウン効果などにより、前年同期比38.3%の増益。

産業機器&システムは、産業装置で新製品の販売増による利益率の改善やこれまで進めてきた構造改革による費用削減効果などにより、黒字化を果たすと共に前年同期比大幅な増益を実現。

	(百万円)			[参考]	(百万円)			
	16/12期 (16年度) 〈A〉	17/12期 (17年度) 〈B〉	前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)	17/12期(2017年度)四半期実績				
	16年1-12月	17年1-12月		1Q	2Q	3Q	4Q	
				17年1-3月	17年4-6月	17年7-9月	17年10-12月	
縫製機器 &システム	4,252 [6.1%]	5,881 [8.5%]	1,629 (38.3%)		1,815 [11.4%]	1,048 [6.3%]	1,250 [7.3%]	1,768 [9.0%]
産業機器 &システム	△63 [△0.2%]	2,820 [8.2%]	2,883 (-)		593 [7.8%]	536 [6.7%]	710 [8.1%]	981 [10.0%]
その他	43 [12.9%]	47 [14.5%]	4 (9.3%)		10 [12.2%]	10 [11.9%]	13 [16.7%]	14 [17.5%]
調整額	△1,210	△909	301 (-)		△177	△247	△171	△314
合計	3,022 [3.1%]	7,839 [7.6%]	4,817 (159.4%)		2,241 [9.4%]	1,348 [5.5%]	1,802 [7.0%]	2,448 [8.3%]

[]は売上高経常利益率

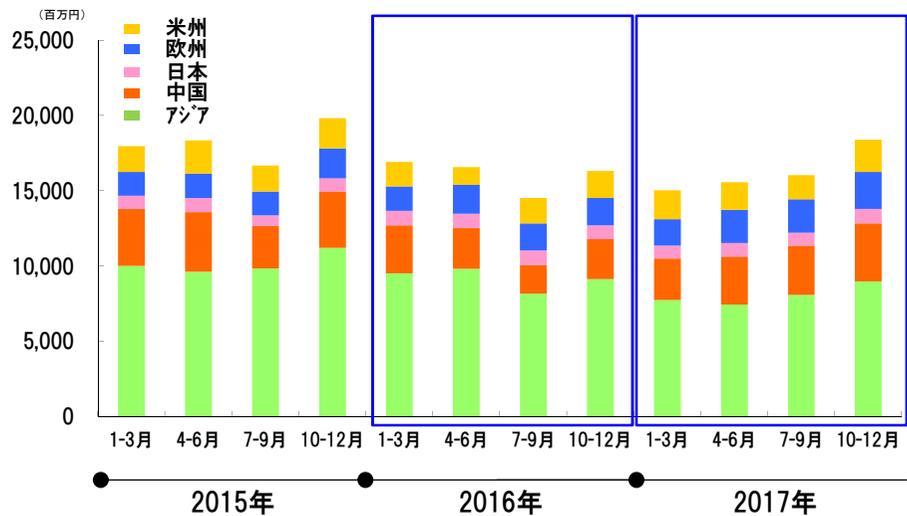
(参考①)

セグメント別業績 縫製機器&システム

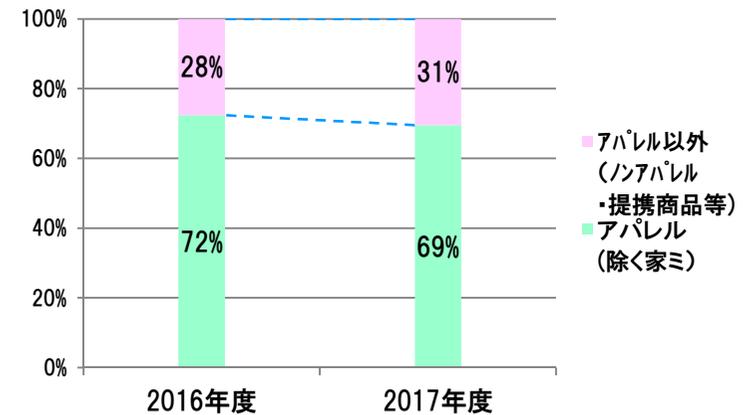


- 中国は主にハイエンド分野で回復基調。
- 米州はノンアパレル、欧州はアパレルを中心に好調に推移。

【工業用ミシンの地域別売上高推移】(月次集計ベース)



【アパレル・アパレル以外の売上高比率推移】(除く家庭用マシン)



【売上高:前年同期比較】

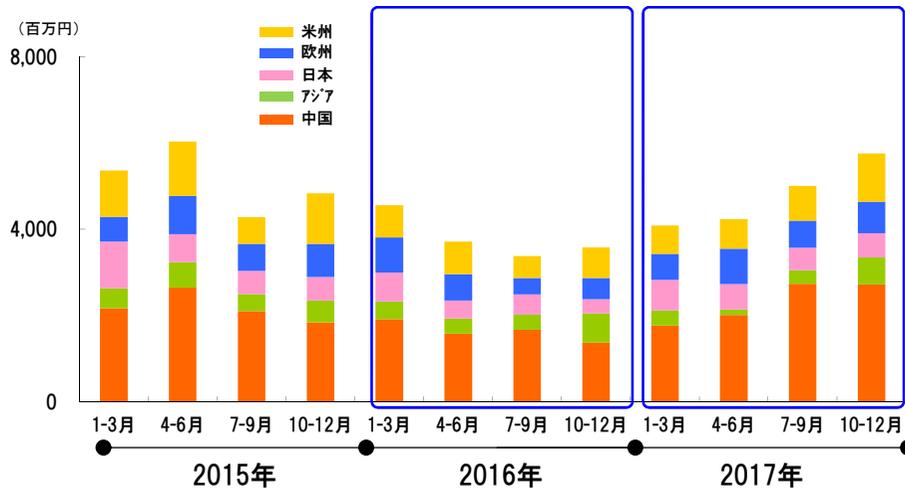
	2016年 (1-12月)		2017年 (1-12月)	
	売上高	増減額	売上高	増減率
アジア	366	△44	322	(△12%)
中国	105	26	131	(+25%)
日本	38	△2	36	(△6%)
欧州	71	16	87	(+22%)
米州	63	12	75	(+19%)
合計	643	8	651	(+1%)

(参考②)

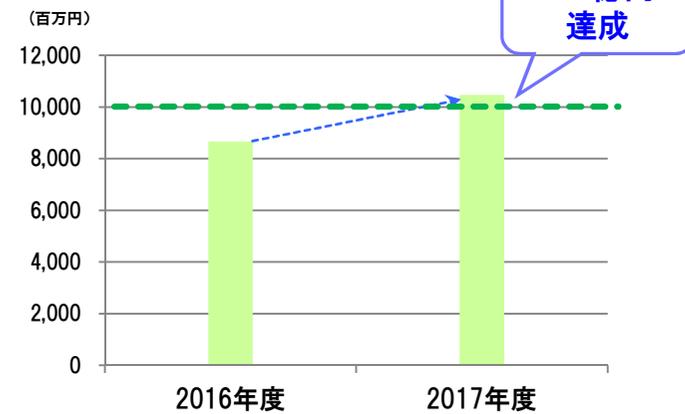
セグメント別業績 産業機器&システム

- 産業装置は中国での設備投資需要が大きく貢献、欧米も堅調。
- 受託加工等のグループ事業も顧客開拓が順調に伸長。(年間売上高100億円を達成)

【産業装置の地域別売上高推移】(月次集計ベース)
(含むパーツ・サービス)



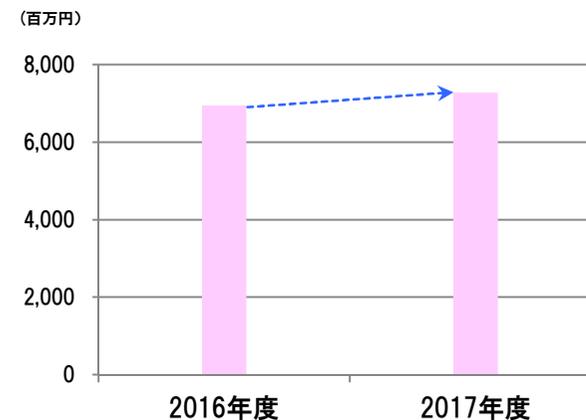
【グループ事業の売上推移】



【売上高:前年同期比較】

	2017年		2016年	
	1-12月	1-12月	1-12月	1-12月
中国	92	65	27	(+42%)
アジア	14	18	△4	
日本	24	19	5	
欧州	28	23	5	
米州	33	27	6	
合計	191	152	39	

【パーツ事業の売上推移】



1-5-1

2018年12月期(2018年度)業績予想

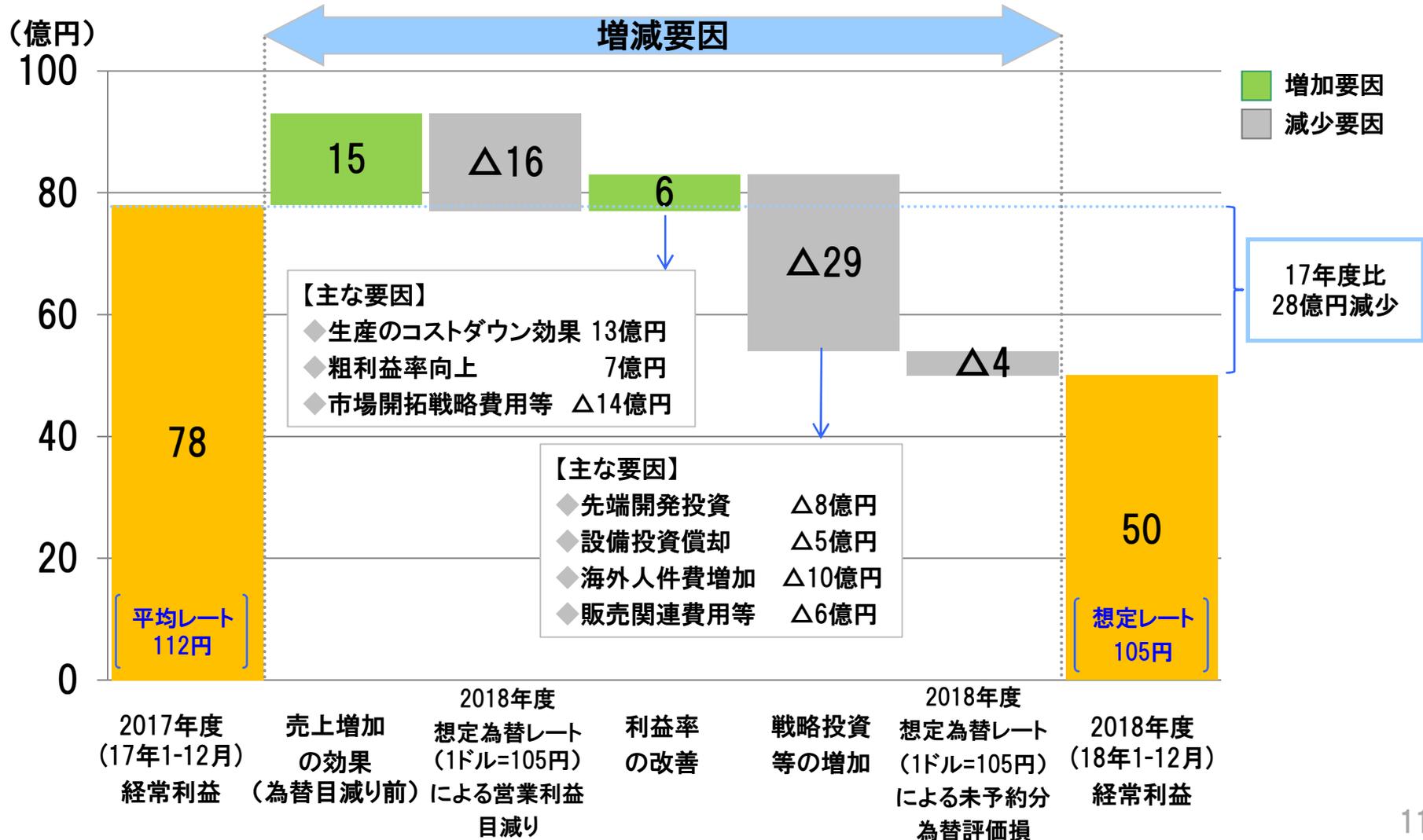


(億円)

	2017年度 実績	2018年度 業績予想
	通期(1-12月)	通期(1-12月)
売上高	1,037	1,040
(縫製機器&システム)	(691)	(690)
(産業機器&システム)	(343)	(350)
営業利益	82	55
経常利益	78	50
当期純利益	56	35
配当	※通期:35円/株	通期:25円/株
為替レート	1ドル=112円	1ドル=105円

※うち普通配当25円、80周年記念配当10円

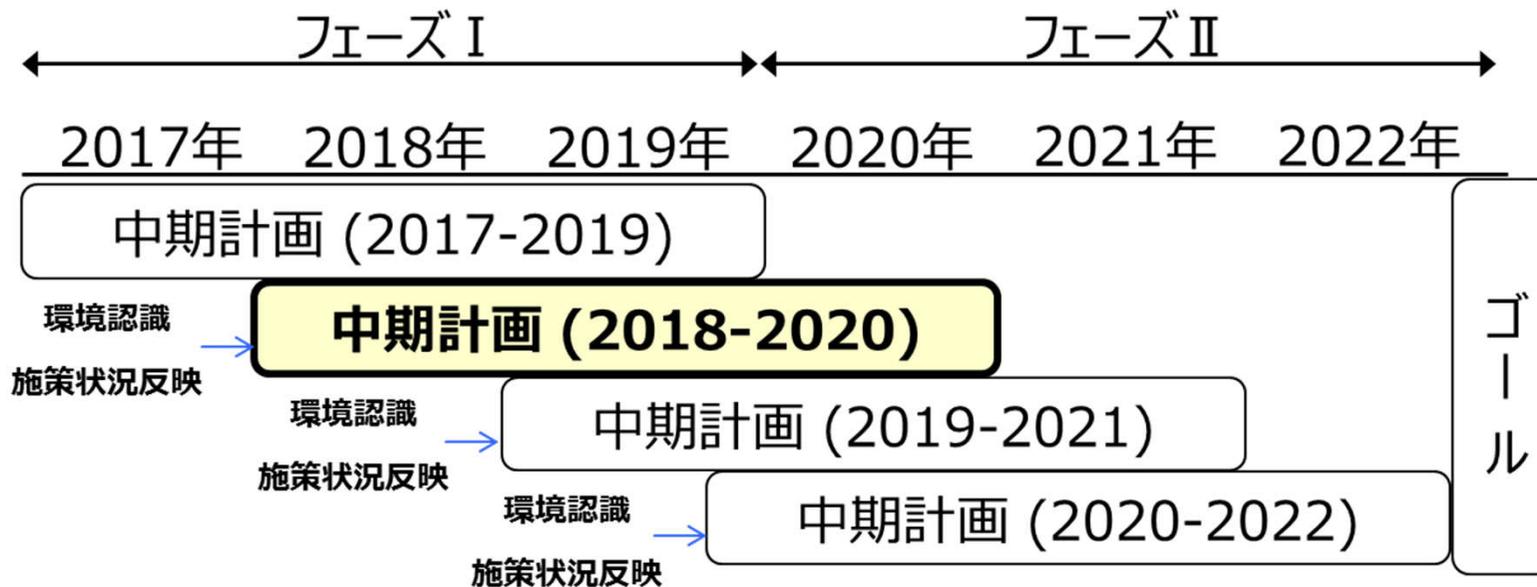
生産のコストダウン(13億円)や粗利益率向上(7億円)を図るも、一方、2018年度の為替レート1ドル=105円を前提としているための目減り(計△20億円)や、先端分野での開発および工場のスマート化を更に進めていくための経費負担増など(△29億円)により減益。



第2部

中期経営計画(2018-2020)の取り組みと 2018年度の重点施策

中期計画「Value up 2022」の2年目スタート



- ① 3カ年計画をローリングさせ、2022年に到達
- ② 絶えず向う3カ年の環境変化を見ながら経営
- ③ 一年毎の事業計画の展開状況を踏まえ次の一年間を修正

経済環境

- 世界経済は、昨年同様安定的な成長維持を期待
 - ・但し地政学的リスクには注意が必要
- 電子部品・工作機械業界の設備投資需要は好調
 - ・情報通信(IoT)分野の技術革新、労働人口不足

顧客ニーズ

- 技術革新(「もの」から「こと」へ)の動きが加速
 - ・AI、ロボット、クラウド 等への関心拡大
- スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資
 - ・デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入

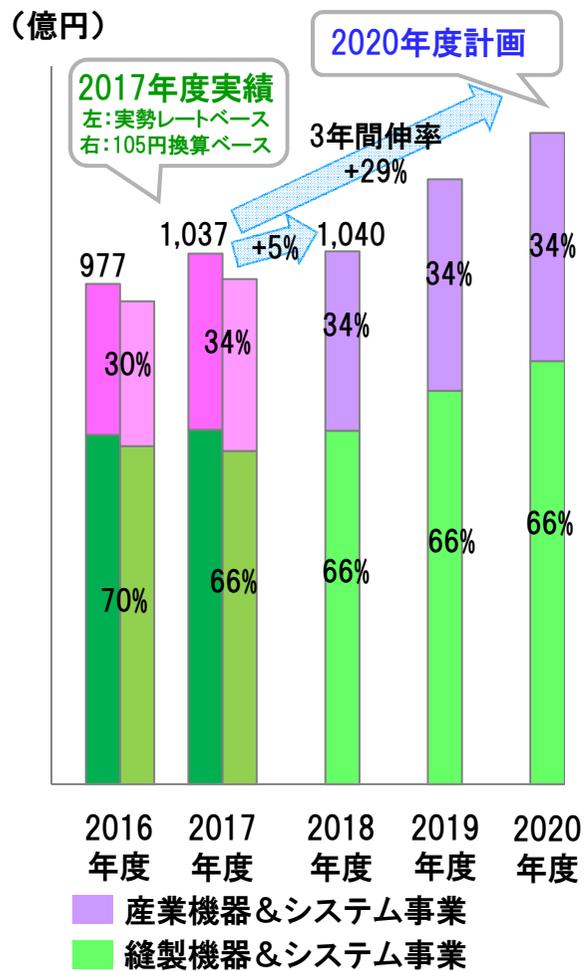
企業への要請

- 経営体制の合理化
 - ・コーポレートガバナンス体制の強化、グローバルな対応体制
- 利益重視の経営
 - ・毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

【売上高】

(目標: 年間 9%増収)

2017年度 実績 1,037億円

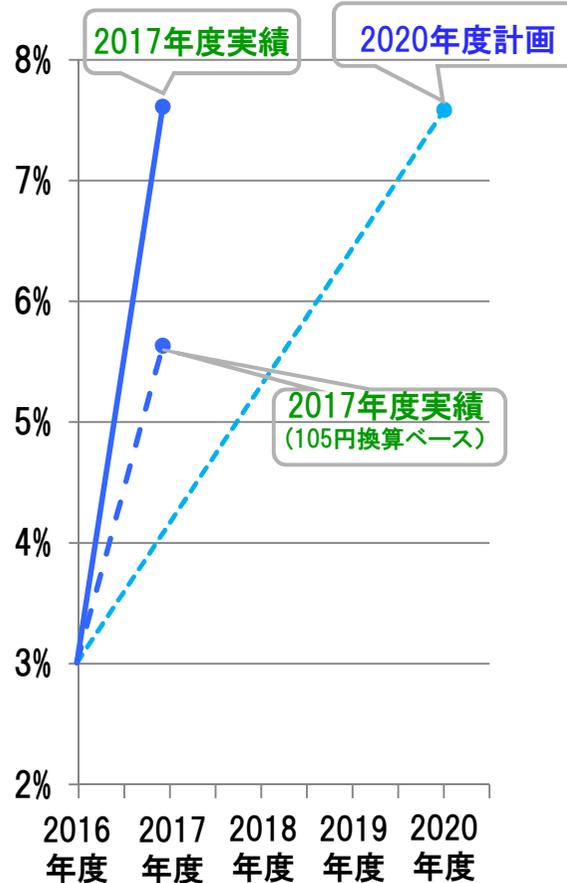


中計の為替レート:1ドル=105円

【経常利益率】

(目標: 2020年度 7.6%以上)

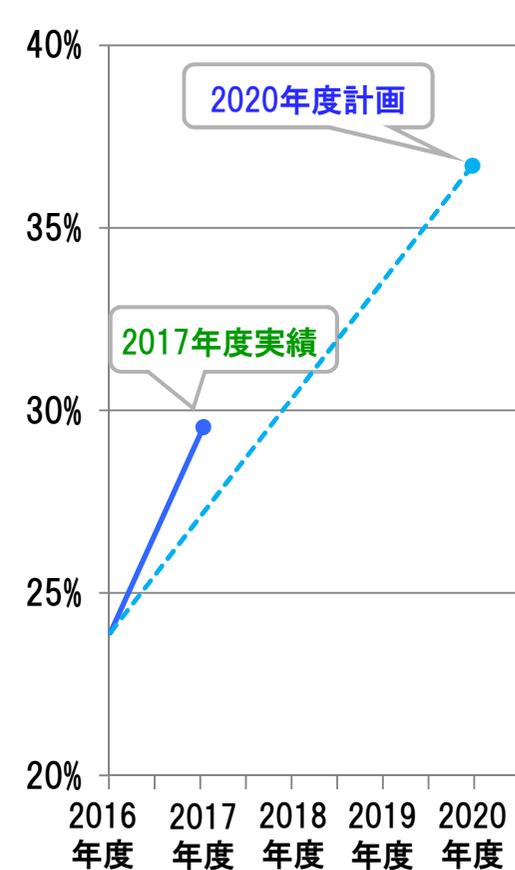
2017年度 実績 7.6%



【自己資本比率】

(目標: 2020年度末 37%以上)

2017年度 実績 29.6%





ビジョン

お客様に選ばれる高品質な
製品・サービスを提供しつづける企業
～世界中のお客様へ「感動と安心」をお届けしよう!!～



基本方針

事業戦略

- ① ソリューション営業での価値創造力の強化
～自動化・システム化の提案力強化、AI等先端技術の取り込み
- ② **市場開拓による将来の顧客基盤構築 ←追加**
- ③ 将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化

体制戦略

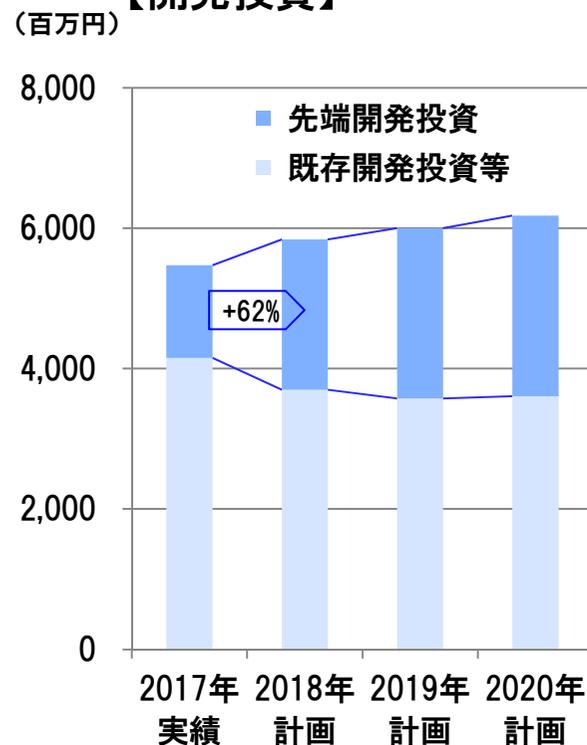
- ④ ビジョンを実現するグローバルで
イノベーティブ(革新的)な人材の育成と活用
- ⑤ スマートな事業基盤の構築
(プロセスのSmart & Connected化) ←追加
～サプライチェーンマネジメントの改革、働き方改革の推進
- ⑥ 財務体質の強化による自己資本の積み上げ

今後3年間(2018~2020年度)の投資計画

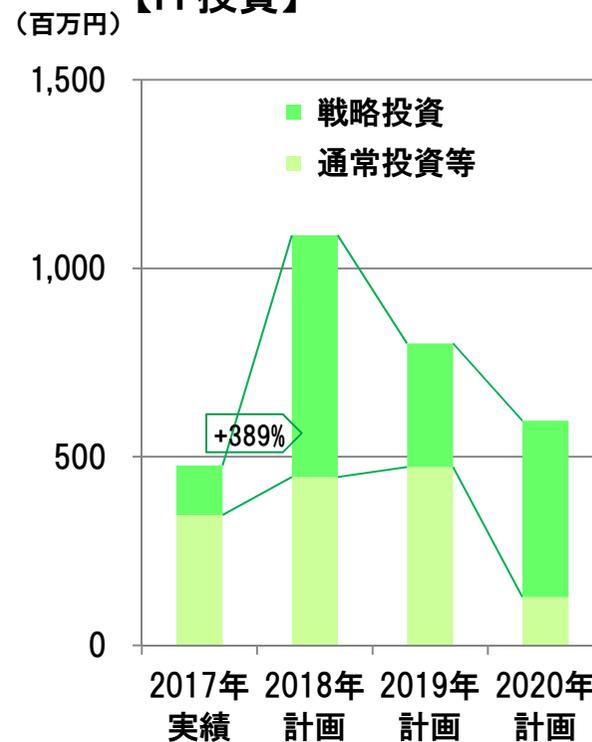
- ・差別化できる新製品開発などの「先端開発投資」
- ・全社の作業やコミュニケーションのスピード化を進める「IT戦略投資」
- ・工場の生産性向上を実現する「生産能力強化投資」

積極的に推進

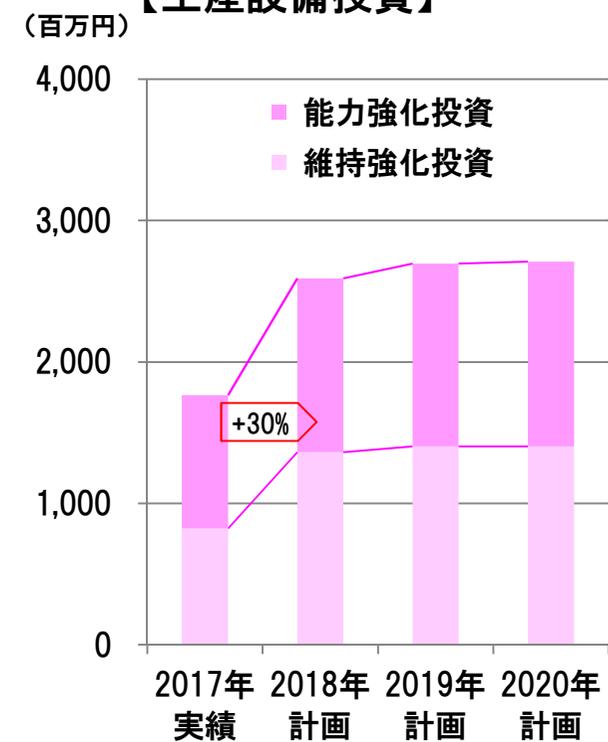
【開発投資】



【IT投資】



【生産設備投資】



ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

基本方針

各市場（ミドルマーケット含む）に合った、縫製スマート工場のスタンダード確立と提案強化

重点施策

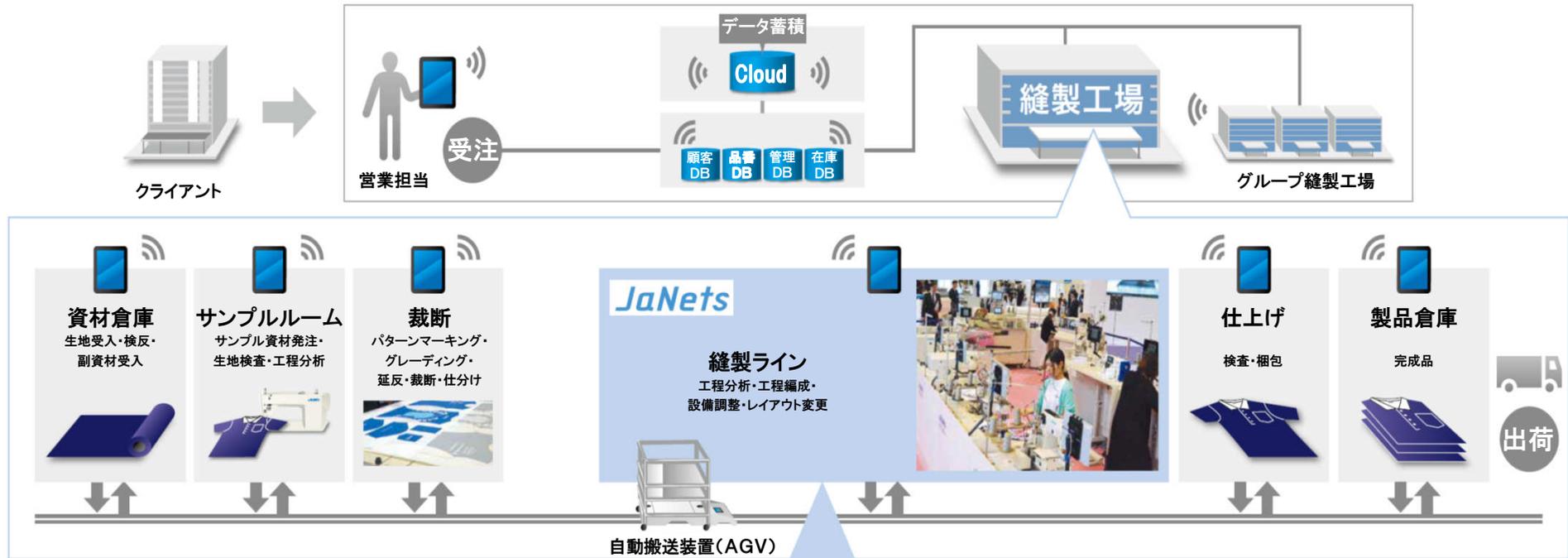
- ・スマートファクトリービジネスモデルの確立と品揃え拡充
- ・縫製ネットワークシステムのパッケージ展開
- ・アジアビジネスモデル再構築と拠点幹部の育成

2-2-1-2

重点施策 縫製機器&システム事業(工業用マシン)



JUKIが提案する縫製のスマートファクトリー



ビジョン

趣味力の高いお客様（Home Sewer）と
新たな楽しみの創造

基本
方針

強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルト
を中心に堅実な事業を展開

重点
施策

- ・ JUKIの強みを活かした製品展開で、ホビー・クラフト
マーケットの攻略
- ・ 市場規模が大きく、かつハイエンド市場のある主要3市場
(日米欧)に注力しての拡販と利益改善
- ・ ニーズ探索、情報発信力強化によるユーザーの囲い込み

2-2-2-2

重点施策 縫製機器&システム事業(家庭用ミシン)

JUKI
Mind & Technology

HZL-EX7



使い心地 縫い品質がさらに進化した
JUKIのフラッグシップモデル

高級家庭用ミシン

MO-1000ML



空気圧を利用した自動ルーパー糸通し
を採用したオーバーロックミシン

ロックミシン

工業用ミシンで培った技術を活かした商品群

職業用ミシン

SL-700EX



New

厚地縫いの範囲を拡げた可縫性の高い
最高級職業用ミシン

キルト用ミシン

J-150QVP



New

工業用本縫いミシンにキルト機能
を付加した高級キルトミシン

TL-2200QVP



日本メーカーでは唯一の本格的
キルトロングアームミシン

ビジョン

得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ
～2020年に汎用機台数でトップシェアを達成

基本方針

多機能マウンタ及び非マウンタ領域の拡大にて
事業基盤を確固たるものとする

重点施策

- ・顧客層別販売戦略・商品戦略の推進
- ・新製品投入による販売拡大及び粗利率の改善
- ・ソリューション営業によるMI・ISM・提携商品の拡販

2-2-3-2

重点施策 産業機器&システム事業(産業装置)

JUKI Smart Solutions

実装統合システムソフトウェア

JaNets
Juki Advanced Network system

生産支援

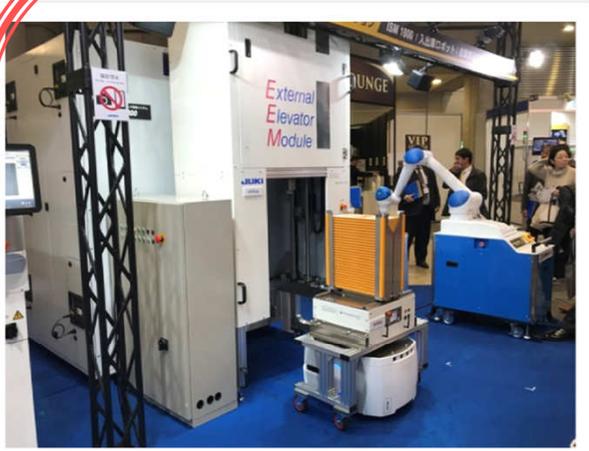
遠隔サポート

装置間連携

AI予知保全

基幹システム連携

マウンタ・検査機・後工程マウンタ



インテリジェント
ストレージ管理システム

ロボット挿入システム

材料・部品支給領域

SMT領域

手挿入領域

組立領域

梱包領域

拡大事業領域

既存事業領域

拡大事業領域

ビジョン

JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かし
JUKI第三の柱へ

基本
方針

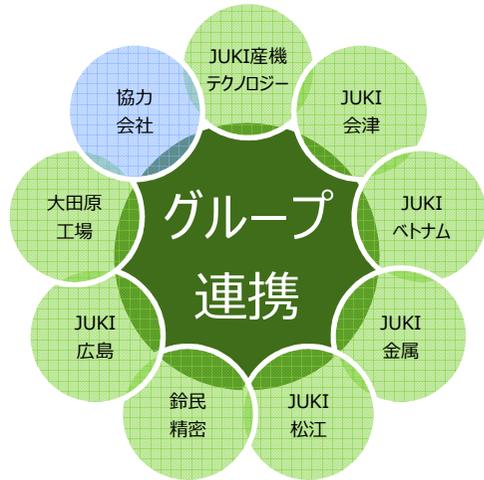
新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で、第三の柱と
するべく売上を拡大
～2020年に売上目標150億円を達成

重点
施策

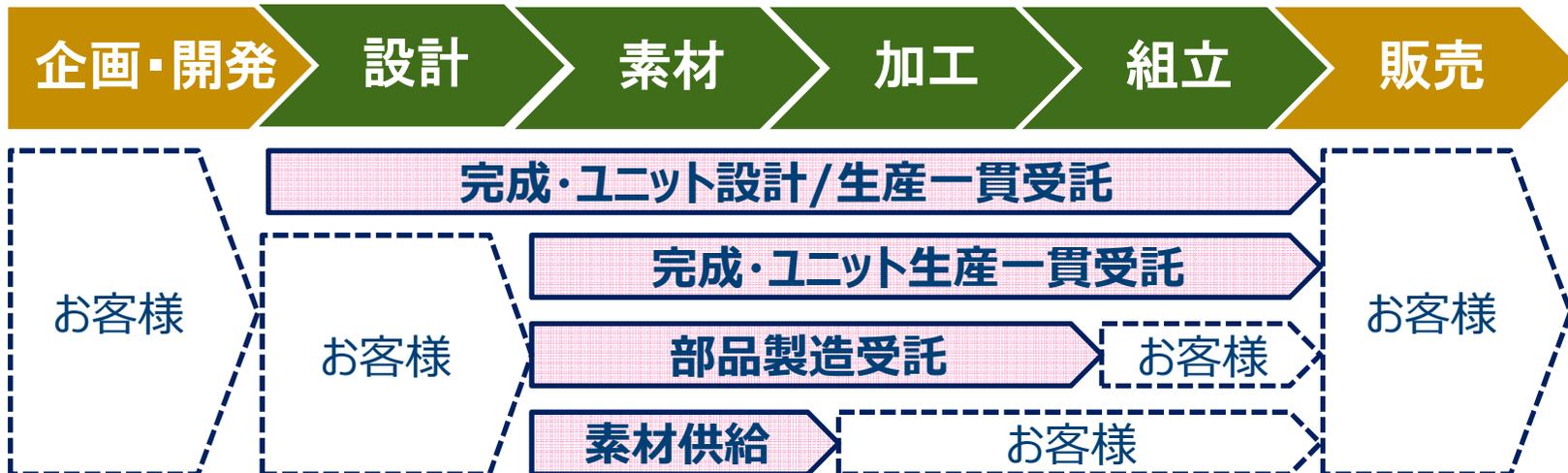
- ・重要顧客の間口拡大による売上拡大
- ・独自製造技術、独自製品の商品化による売上拡大

JUKI Contract Business Model

生産グループ会社(国内7社、海外1社)と協力会社による
JUKIのものづくり力とネットワークを活用



- ★外部のお客様のニーズに対し
- ★グループ連携で受託範囲を拡大することで
- ★お客様のものづくりプロセスを補完する



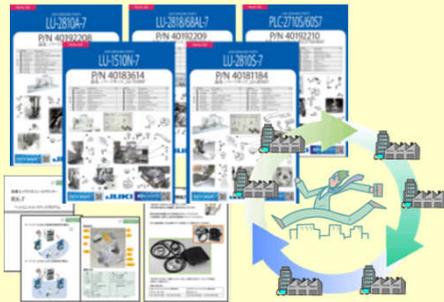
ビジョン 今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

基本方針 縫製、産業装置の垣根を越えたカスタマービジネスの拡大

重点施策

- (縫製) パーツWebサイトを活用したネットセールスによる顧客の囲い込み
- (産装) 有償メンテナンスによるパーツ需要掘起こし
- (共通) スマートライン導入におけるアフターサービス事業拡大、パーツ/サービスの相乗的な付加価値創生

パーツ/サービスBIZ拡大



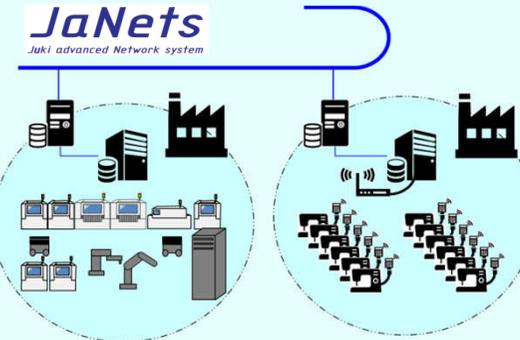
とにかく
お客さんのもとへ

- ・縫製パーツ拡販
- ・産装有償メンテナンスによる
パーツ/サービス拡販

スマートライン導入における アフターサービス事業拡大



技術支援



Smart Solution
への対応

CONNECTED



パーツ供給体制
パーツセンター/販社倉庫



情報共有、発信の為の
ネットワークシステム

活動を支える後方支援

皆さまとともに80年

おかげさまでJUKIは2018年12月15日に創立80周年を迎えます。

当社を支えてくださったお客様、お取引先、株主や
地域社会の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの方々の
ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

- 選ばれるソリューションパートナーへ -

80th
Global & Innovative

《リレーションシップ強化》

お客様、お取引先、株主の皆様への感謝を示す

記念ホームページ掲載 等

80周年活動

本業の中でしっかりと
80年企業として
誇れる姿を実現し
お客様に還元して行く

《中期計画達成の推進力強化》

お客様の競争力強化を
実現する製品とサービスを
提供することで計画達成を実現

JUKI歴史ミュージアム整備 等

《意識改革・風土改革》

グローバルでイノベーティブな
人材育成と組織づくりを推進し
100年企業への基礎を構築

80年史発刊、新グループウェア導入 等

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 財務経理部 担当：南

TEL :042-357-2391 FAX :042-357-2392

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>